

◎グラフで見る転倒災害

※単位は表記がある場合を除き全て人 ※死傷災害は休業4日以上死傷災害のことです。

※端数処理していますので、合計が100%にならないことがあります。

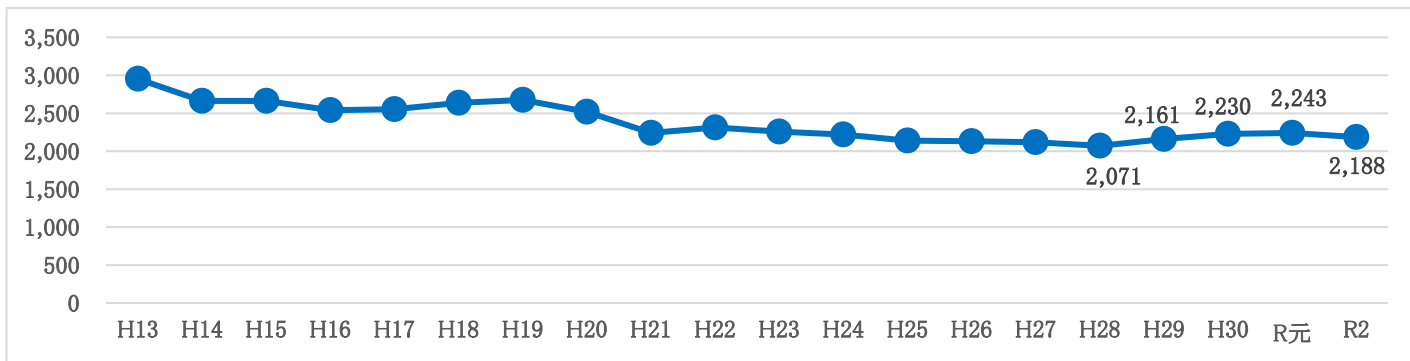
※統計確定以降に報告があった分も集計対象としていますので、確定値と相違することがあります。

※三重：三重労働局全体、熊野：熊野労働基準監督署 ※出典 三重労働局ホームページ、労働者死傷病報告



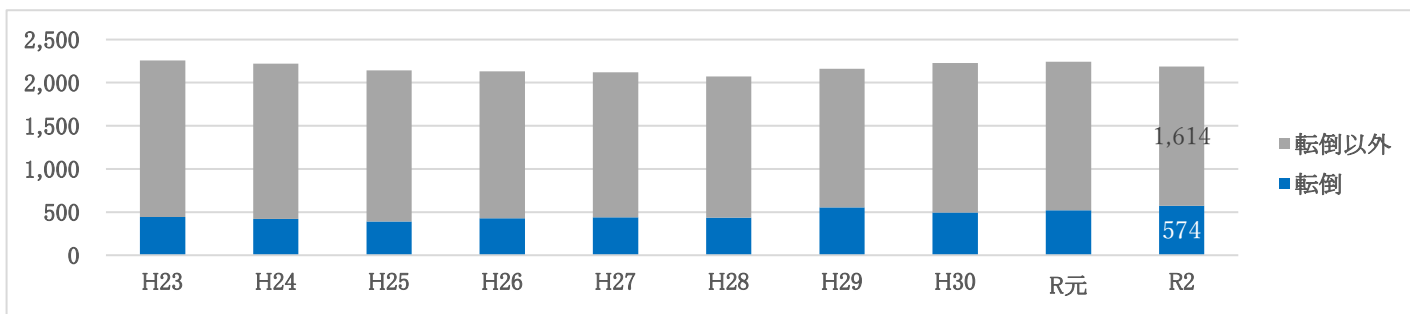
◎死傷災害の推移（三重）

令和2年は三重労働局全体で2,188人でした。



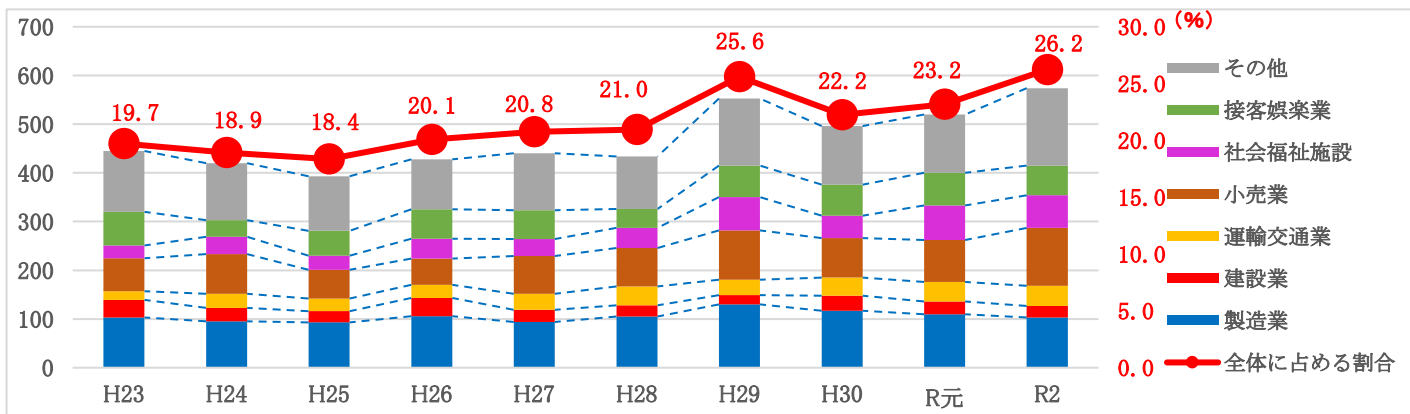
◎転倒災害が占める割合の推移（三重）

転倒災害が全体の4分の1程度を占めています。



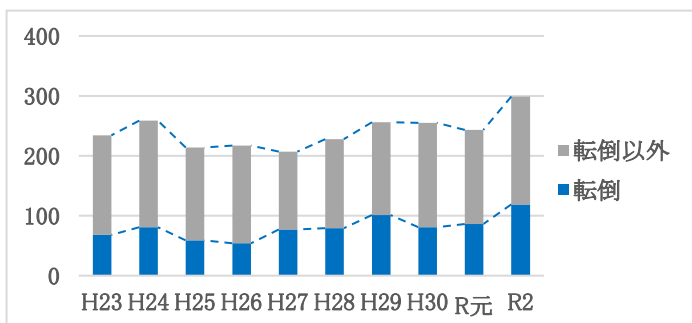
◎業種別転倒災害の発生状況の推移（三重）

転倒災害は、製造業、小売業、社会福祉施設で多く発生しています。



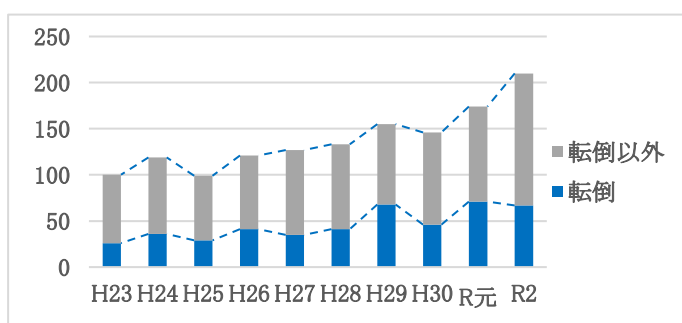
◎小売業の転倒災害発生状況の推移（三重）

転倒災害が3分の1程度を占めています。



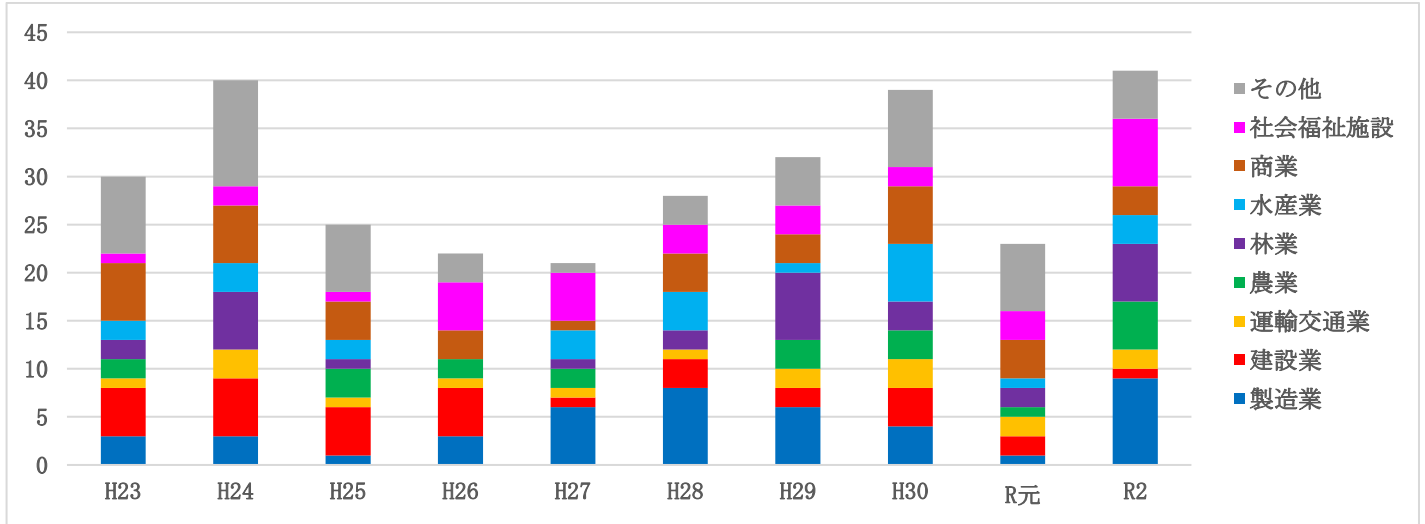
◎社会福祉施設の転倒災害発生状況の推移（三重）

転倒災害が3分の1程度を占めています。



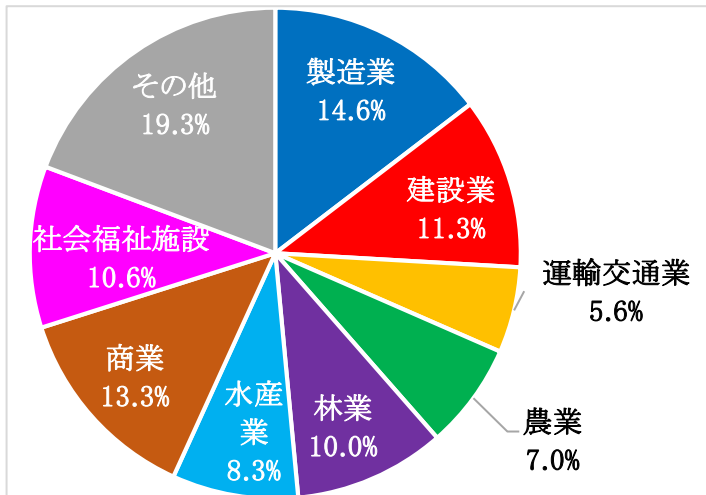
◎熊野労働基準監督署の転倒災害発生状況（平成23年～令和2年）

◎年別・業種別転倒災害発生状況の推移（熊野）



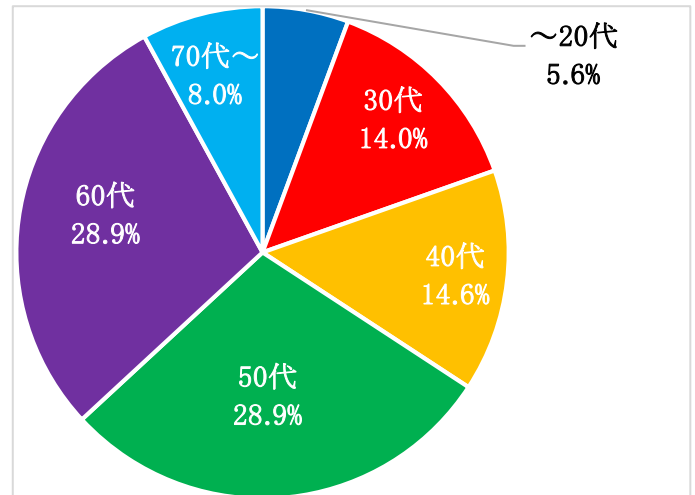
◎業種別発生状況（熊野）

製造業、商業で多く発生しています。



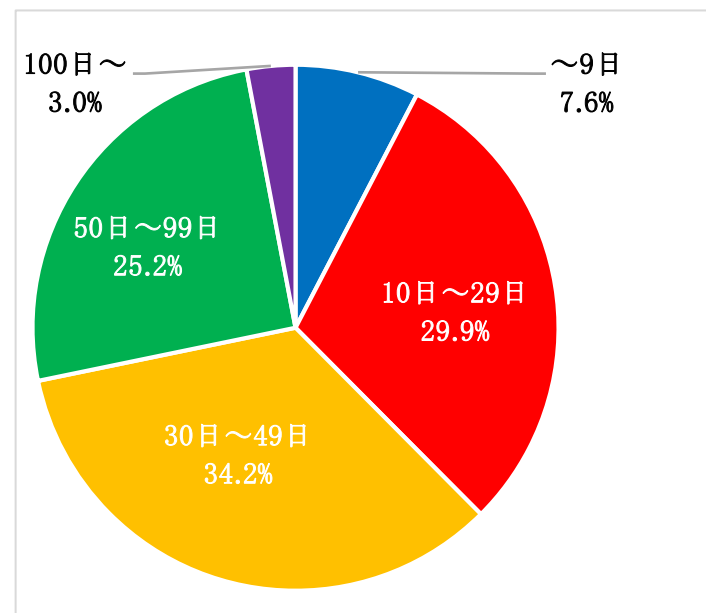
◎年代別発生状況（熊野）

50代、60代で多く発生しています。



◎被災程度別発生状況（熊野）

休業日数 30～49 日の災害が最も多くなっています。



◎経験別発生状況（熊野）

10年以上のベテラン層の方に多く発生しています。

